

若手の国会議員が柔軟な発想で政策を打ち出している。特に若手が多い自民党では女性問題や不適切発言などの不祥事が自立ち「魔の2回生」と問題児扱いされることが多い中、従来の支持団体などとしがらみを離れて、これまで未開拓だった政策分野への取り組みに力を入れる。支持率低迷が深刻な民進党でも党再建へ若手が前面に出る場面も増える。

6日夕、東京・永田町の議員会館の会議室に約10人の自民党議員が集まった。財政出動の重要性を説く「エコノミストの講演」に熱心に耳を傾けた。この「日本の未来を考える勉強会」は安藤裕氏の呼びかけで発足した当選2回の衆院議員の会。講演を聴いた後、飲み会で政策論を戦わせた。月内に今後の「マニフェスト」の進め方について提言を求めている。

安藤氏の同期である当選2回生は100人超。大勝した2012年末の総選挙で初当選した面々だ。

「議員になって政策論争がデータに基づいていないことにびっくりした」と話すのは政府統計の改革に取り組む日銀OBの小倉将信氏だ。客観的なデータで政策効果を測りながら政策立案すべきだという考えから、前提となる国内総生産（GDP）統計などの改善を訴えてきた。

政府の統計改革推進会議が5月に公表した報告書作成に関わった。報告書に沿い、今後は税や社会保障の行政データが統計に反映される。

福田達夫氏は好きな時間や場所ですべて働くテレワークの普及に力を入れる。党の特命委員会の事務局長を務め、

若手議員 新分野で旗振り

政府に支援策を求めてきた。テレワークの名称は定着したが「地方ではまだ導入が少ない」という。次の提言では地方のテレワーク労働者を守る制度整備を求めるつもりだ。

祖父の雄夫氏、父の康夫氏と続く首相の家系。康夫氏の首相秘書官だった08年に達夫氏が自玉政策として用意したのがテレワーク。突然の首相辞任でお蔵入りしたが、達夫氏が議員になってなし遂げた。「女性が家庭と仕事を軽やかにこなせるように」。思いは当時と変わらぬ。

議員になる前にエンジニアとして宇宙開発関連の仕事に就いていた大野敬太郎氏は公益的な仕事を民間企業がやるソーシャルベンチャーを後押しする。米同時テロ直後に米

国でも性的少数者（LGBT）が苦勞していた実態を見た牧島かれん氏はLGBT支援に力を入れる。

こうした若手に共通するのは自民党がこれまではあまり熱心でなかった未開拓の分野を切り開き、第一人者になったことだ。同党2回生議員は同党が国民の信頼を失っていた民主党政権時代に立候補を決めた。小倉氏は「もともと危機感が強い。先輩議員と同じことをやってもダメだと思っている」と指摘する。

少子化対策の財源として注目の子ども保険も小泉進次郎氏、村井英樹氏、小林史明氏の若手3人の提案。きっかけは15年度補正予算で決まった年金生活者向けの3万円の臨時給付。高齢者ばかりに手厚

い政策に疑問を抱いた3人は15年末、赤坂議員会館で夜な夜な意見交換した。

当時の稲田副委員長らに給付の中止を建言。覆ることはなかったが、かわりに若手主体の小委員会が発足した。「子ども保険」は政府が今月9日に決めた経済財政運営の基本方針（骨太の方針）にも新たな教育財源として検討方針が盛り込まれた。

野党の若手では民進党の五木雄一郎氏が政策通として知られる。昨年の党代表選にも出馬し、子育て財源に「子ども国債」の発行を訴えた。今年4月に野田佳彦幹事長に党再建へ党改革の具体的な提言を申し入れたのも岸本周平氏ら若手だった。

（江別智弘）

自民の「魔の2回生」が挽回を狙う

新分野



牧島かれん氏 ②
LGBT支援



小倉将信氏 ②
統計改革



福田達夫氏 ②
テレワーク



福田峰之氏 ③
マイナンバー



大野敬太郎氏 ②
ソーシャルベンチャー

子育て支援



子ども保険
小泉進次郎氏 ③



村井英樹氏 ②



小林史明氏 ②



子ども国債
五木雄一郎氏 ③

財政運営



安藤裕氏 ②
財政出動の必要性を説く勉強会を主宰

（注）●は当選回数。民進党の五木氏以外は自民党